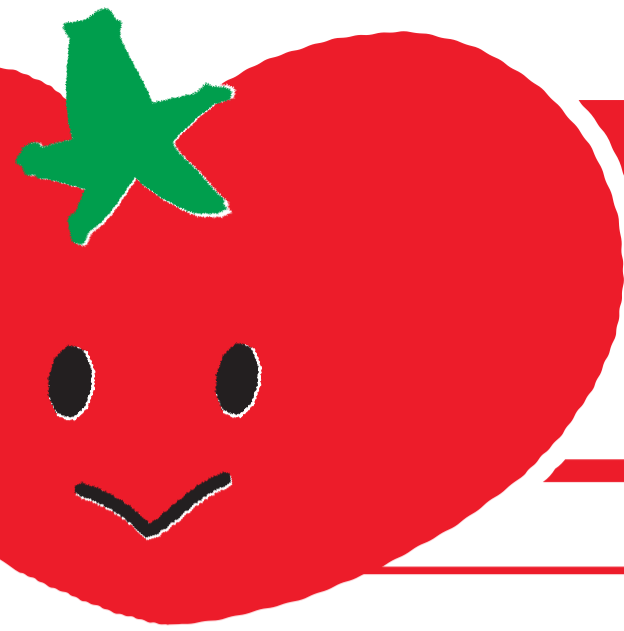


とまちゃん通信

角ともこ県議会レポート

2011.1 January vol.16



新年明けまして

おめでしょぶげしゅごます

新春にあたり皆様のご多幸をお祈りいたします

任期4年間、女性の視点、生活者の視点で皆さんが日々笑顔で暮らせる地域づくり、島根づくりに取り組んできました。しかし、取り組むべき課題は山積していますし、政権交代したとはいえ、地域主権の確立には道半ばです。県民が主体となり、人に光があたる生活が第一の政治を実現するために、私は、さらに課題解決に向けて全力で取り組んでまいりますので、引き続きご支援賜りますようお願い申し上げます。

県民との協働による地域づくりをめざして

第四二八回島根県議会(平成22年11月定例会)が11月24日から12月17日まで開催されました。この議会では、国の経済対策に関わる補正予算が成立したのを受け関連した補正予算案などを可決して終えました。今回も一般質問を行いましたので報告します。

療養環境の改善に向けて

筋萎縮性側索硬化症(ALS)は筋肉に運動の伝達ができなくなる病気で、手や足が思うように動かせないことや、言



健康福祉部長 平成21年度から、在宅療養している重症難病患者の一時入院を受け入れる医療機関に補助をする一時入院支援事業を行っている。また、今年度からは、入院時に看護師との意思疎通が十分にできず、不安や不満を感じている患者の課題解決に通訳的役割を担うコミュニ

ケーションボランティアの養成を行っている。

広く県民にALSなど難病に対する理解と支援について周知していくことや、ボランティアの育成や費用弁償など活動の支援、より頻度の高い看護のための看護師の加配や派遣等が求められています。

ALS患者の皆さんの療養生活環境をよくするための支援の取り組みをさらに強化する考えはないのか。

知事 解決しなければならぬ課題もあり、今後とも患者・家族の意見をよく聞き、ALS患者の療養環境改善に向けて検討を続けていきたい。

生活保護世帯自立への支援

求職活動を続けていてもなかなか職に就けないことから自尊心を喪失し、生きていくことや、物事に取り組む意欲を失ってしまう人も少なくはなく、年々増え続ける生活保護受給者に対して限られた各市町村職員の中では、自立に向けた十分な対応は難しい状況になっています。生活保護にあたるケースワ

カーには地域資源の活用と、ハローワークなどの他機関やNPOなどの民間団体との連携・協働を含め専門的な対応が求められています。ただ単に自立を促してつき離すのではなく、しっかりと寄り添って自立へのきめ細かい支援をしていくことで、地域で自立した生活ができることようにしていくことが必要です。

今後の島根県の取り組みについてのお考えは。

知事 県としては生活保護世帯が増加している状況から、自立支援の取り組みが重要と考えており、他県の取り組みも参考に、市町村と連携して支援策を研究したい。

道路等の維持管理

道路の整備距離が長くなればなるほどその維持管理の経費は大きくなってきます。国土交通白書でも50年以上経過する社会資本の割合が20年後には5割に達するといわれています。財政再建計画を進めている中では公共事業費が削減される中、その中において安全性や美観の上からも維持補修にもっと

重きを置いてほしいと考えます。

今後の道路の整備にかかる予算と維持管理に要する予算の配分はどうあるべきと考えられているのか。

土木部長 適切な維持管理水準を確保するため、ボランティアによる道路愛護活動の拡大や長寿命化修繕計画の導入など様々な工夫をしながら、維持補修予算の平準化とコスト削減を図る。また、道路の安全・安心の確保を最優先に考え、適切な維持管理に努める。

県民との協働

県内では様々な形で県民が中心となって、私たちがこの島根で生活し続けていくうえで必要なことを地域で自ら考え自ら活動を起こしている人たちがたくさんいます。県も県民の活動への支援や、協働事業への取り組みもなされていきます。

県が率先して県民に働きかけ、県民との協働で県の公共サービス事業を実施していくことに対してどのように考えるのか。

知事 民との協働については、今後も島根の実情にあった民

との協働を進めるための手法、事業などを検討していきたい。

松江市では、市民団体から開催要望のあった日本女性会議を、市と市民が協働で来年10月に開催するために、今、準備が進められています。この開催に向けた活動を通して女性を中心に市民が男女共同参画への理解を深め、市民が自立した活動を進めていくための力をつけていくことで男女共同参画が進む事を目的に取り組みされています。この日本女性会議はただ単に松江市だけの範囲にとどまらず、広域に開催運動の輪が広がり、県内各市町村の協力や県の協力が求められています。

来年10月に開催される日本女性会議への支援についての考えを聞く。

知事 県としても、大会運営に必要な支援を行うほか、財団法人しまね女性センターとも連携し、県内各市町村や関係機関・団体への参加の呼びかけ、県民へのPRなど、松江大会が有意義なものになるよう積極的に協力していきたい。



とまちゃん通信

民主党ヒアリング

島根県の要望説明

11月24日、民主党の各県要望についてのヒアリングあり、県連代表の小室衆議院議員とともに来年度予算編成に関わる島根県の重点要望について説明を行いました。各県5項目に絞って説明することになっていたので、島根県では、地域主権改革、地域医療対策の充実、山陰道の整備促進、農林漁業の再生、地方交通への支援にまとめ、要望書を提出しました。あらかじめ提出している要望書を基に小室議員より説明、そして私からは特に強調したい地域医療の現状と医師確保に向けた国の取りぐみと、救急搬送に欠くことのできない道の整備と移動手段確保のための公共交通への支援について訴えました。



衆議院議員会館から国会議事堂を臨む

一括交付金化にあたり総額確保と財政力の弱い自治体へ
要望活動がなされておられ、その後押しはできたいと思います。
国会周辺は参議院本会議を前に補正予算をめぐっての与野党の攻防が激しくなっているまぎ、国会議事堂内の民主党、自民党それぞれの国対委員会室前には記者が群がり、議員の誰かが出てくると追っかけていくという緊迫した空気が漂っていました。



民主党幹部の皆さんと意見交換

の配慮については、ヒアリングにあたっては横光克彦組織委員長からも、地域再生基盤強化交付金など継承されるべき事業は今後もきちんとして守る必要があるとの発言など、地域事情に考慮する必要性について理解を示される意見があり、県要望への民主党からの後押しを期待するところです。説明時間は限られていたのですが、各団体からも各省庁に向けて

中山間地域・離島調査特別委員会

中山間地域コミュニティ再生 重点プロジェクト事業

プロジェクト事業では、モデル地域に地域マネージャーを配置して多様な団体、人の参画による、集落を越えた新たな地域運営の仕組み作りを取り組んでいます。地域では、住民主体の組織作りや地域課題、地域資源の調査活動を実施し、事業終了後も持続する仕組みを確立していくために活動されています。

中山間地域・離島調査特別委員会では、11月1～2日邑南町、浜田市、川本町、雲南市で、この事業と学校給食への地場産野菜等の利用促進についての調査を行いました。

中山間地域コミュニティ再生重点プロジェクト事業については、邑南町市木地区と浜田市金城町波佐・小国地区、雲南市掛合町波多地区の3ヶ所で活動状況と今後について、地元の人たちと市町の担当者との意見交換しました。

邑南町市木地区では、平成20年に安夢末(あゆみ)プロジェクトを設立し、地域マネージャーを中心とした活動を行っています。



浜田市波佐・小国地区の皆さんと意見交換

邑南町市木地区では、平成10年に波多コミュニティ協議会を設立され、平成20年度にはその中に波多彩りプロジェクトを設置し、地域資源や課題等についてのワークショップで検討し、ハザードマップづくりや地域内送迎システムの試行、交流センター内での日用品



邑南町市木地区の間伐材を使った立て看板

ジャヤーを中心にデータ部会、森林部会、交流企画部会が地区の歴史の調査や竹の有効利用、田舎ツーリズムによる都市と農村の交流などを行っています。また、地区の歴史を元に作ったカルタを間伐材利用



雲南市波多地区の集落

の販売試行などを実施しています。
いずれの事業もリーダーとなるべき人と地域マネージャーの活躍がこの事業の成功の鍵を握っていることや、事業を通して地域コミュニティの維持・再生が進んでいることを感じました。
この事業は、今年度で終了しますが、地域で築かれた事業や仕組みを継続していくための支援や、まだ取り組みがなされていない地域への情報提供、今後取り組まれる地域への支援が必要であることを感じました。
学校給食への地場産野菜等の利用促進については、邑南町と川本町で調査を行いました。
邑南町の給食における地産地消の取り組みは、食育教育の推進と地域の活性化が連動し、地産地消推進条例を制定して積極的に進められています。
学校給食では、できるだけ旬の野菜を採り入れようと献立の工夫や食材の処理に工夫していました。栄養教諭と地産地消コーディネーターを兼務するセンター長で情報を



「道の駅インフォメーションかわもと」に並ぶ地場産品

毎回、議会で質問をすることを公約に活動を続け、この議会レポートを通して皆さんに報告しています。限られた紙面の中での報告ですので、十分伝えきれないこともあります。お声掛け頂ければ、皆さんのところに参ります。
次回定例議会は、2月14日に開会します。お時間のある方は、傍聴にお出かけください。
【問合せ先】TEL28-8880